

NewsRelease

2026年 10月 1日

株式会社オガワエコノス

「瀬戸内資源循環プロジェクト」実装開始のお知らせ

～選別センター竣工・店頭回収開始により、食品容器の水平リサイクル社会実装へ～

株式会社オガワエコノス(本社:広島県府中市、代表取締役社長:小川貴広)は、瀬戸内地域の動静脈企業が連携して資源循環を推進する「瀬戸内資源循環プロジェクト」の一環で施設整備を進めてきた資源集約・選別施設「ソーティングマテリアルセンター」を竣工し使用済み食品容器の受入れを開始しましたのでお知らせいたします。



(右から) TA フロンティア株式会社 アドバンス部門取締役副社長執行役員部門長 春見恵司様、PS ジャパン株式会社 代表取締役社長 頭谷一平様、フジ株式会社 代表取締役副社長 辻 雅信様、シービー化成株式会社 代表取締役社長 三宅慎太郎様、株式会社オガワエコノス 代表取締役社長 小川貴広、株式会社 CFP 代表取締役社長 福田奈美恵様、旭化成株式会社 上席執行役員製造統括本部長 中島一宗様、太陽石油株式会社 理事・新規事業開発部長 三宅信次様、株式会社生興運送 代表取締役社長 西村太延様

1. 瀬戸内資源循環プロジェクトについて

瀬戸内資源循環プロジェクトは、スーパーマーケットの店頭で回収した使用済みプラスチック食品容器をケミカルリサイクルにより再資源化し、再び食品容器として活用する水平リサイクルの実現を目指し、瀬戸内地域の企業がそれぞれの役割を担いながら連携して推進する取り組みです。

2. ソーティングマテリアルセンターの竣工

このたび、2026 年 9 月 28 日に広島県福山市にて、資源循環ループを成立させる中核拠点「ソーティングマテリアルセンター」を竣工しました。当施設では、使用済み食品容器を高度選別し、ケミカルリサイクル工程へ接続するための前処理を行います。これまで水平リサイクルが困難とされてきた色柄付き発泡容器(PSP)や透明容器(OPS)を含む多様な使用済み食品容器を選別・加工し、ケミカルリサイクル工程への接続に適した原料として供給します。

これにより、回収、選別・前処理、ケミカルリサイクル、石油精製、石油化学、樹脂製造、食品容器製造までを一貫してつなぐ資源循環サプライチェーンを実装する基盤が整いました。

竣工式写真	選別加工ライン
	

3. 店頭回収の開始

2026 年 9 月より岡山県・島根県・鳥取県、10 月より香川県・徳島県・高知県にて、株式会社フジ各店舗において、使用済み食品容器の店頭回収を開始します。

店頭回収を通じて生活者の皆様から回収した使用済み食品容器は、高度選別・加工 ⇒ ケミカルリサイクル(熱分解油化) ⇒ 石油精製⇒スチレンモノマー製造 ⇒ ポリスチレン樹脂製造 ⇒ 食品容器製造という循環プロセスへ接続され、新たな食品容器へと生まれ変わります。

本取り組みにより、無地発泡容器(PSP)だけでなく、色柄付き発泡容器(PSP)や透明容器(OPS)を含

む多様な使用済み食品容器を回収することで、再び食品容器として活用する資源循環モデルの構築・社会実装を進めます。

店頭回収ボックス	回収実施店舗	
		
		

4. 連携企業各社の役割

本プロジェクトでは、瀬戸内地域の企業がそれぞれの強みを活かし、食品容器の水平リサイクル実現に向けたサプライチェーンを構築しています。

- 株式会社 フジ : 各店舗の店頭にて使用済み食品容器の店頭回収
- 株式会社 生興運送 : 使用済み食品容器回収物流の構築・運営
- 株式会社 オガワエコノス : 使用済み食品容器を高度選別・加工
- 株式会社 CFP : 使用済みプラスチック熱分解による油化
- TA フロンティア株式会社 : 熱分解油のオフテイク・石油精製接続
- 太陽石油株式会社 : 熱分解油の精製・基礎化学品製造
- 旭化成株式会社 : 基礎化学品からスチレンモノマー製造・供給
- PSジャパン株式会社 : ポリスチレン樹脂製造・供給
- シーピー化成株式会社 : ケミカルリサイクル由来原料を活用した食品容器製造

食品容器を再び食品容器へ、企業連携による新たなリサイクルモデル

瀬戸内資源循環プロジェクト

瀬戸内地域で使用済み食品容器を回収、油化ケミカルリサイクルを起点とし再資源化、再び食品容器を製造する地域循環モデルです。本スキームで生まれ変わった食品容器は、地域を越えて全国へ展開され、環境負荷低減に貢献します。



※シーピー化成株式会社は現在、ISCC PLUS 認証取得に向けた手続きを進めております

5. 水平リサイクル製品の販売に向けて

現在、当社はソーティングマテリアルセンターにおいて、店頭から回収された使用済み食品容器を受け入れ、高度選別・前処理を行い、ケミカルリサイクル工程へ接続するための原料供給体制の構築を進めています。本プロジェクトでは、こうした企業間連携によるサプライチェーンを通じて、2027 年 3 月から、シーピー化成株式会社がケミカルリサイクル由来原料を活用した食品容器の製造・販売を開始する予定です。また、当該製品については、シーピー化成株式会社の ISCC PLUS 認証取得後、同認証に基づくマスバランス方式を活用し、ケミカルリサイクル由来原料の循環価値を適切に割り当てる計画です。

製造予定製品群(新 L シリーズ柄付き・TN シリーズ柄付き・SF シリーズ柄付き)



※シーピー化成株式会社 製造予定製品群

6. 今後の展望

今後は、本プロジェクトへの参画企業の拡大、回収店舗数・回収対象容器の拡大を進めるとともに、自治体との連携強化やケミカルリサイクル製品の市場展開を通じて、瀬戸内エリア全域への展開を進め、地域



循環型の資源循環モデルの確立を目指します。

また、本プロジェクトを地域循環型資源循環のロールモデルとして、経済合理性を検証しながら持続可能な事業モデルへと発展させ、将来的には他地域への展開も視野に入れ、さらなる資源循環と環境負荷低減の両立に貢献してまいります。

7. 参画企業共同メッセージ

「構想から実装へ。」私たちは企業の垣根を越えた連携により、使用済み食品容器を再び食品容器へ循環させる社会実装を開始しました。瀬戸内から未来へつなげる循環の輪を広げ、持続可能な社会の実現に向けて挑戦を続けて参ります。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社オガワエコノス

担当者：ソリューション営業部（担当：横山）

TEL：(03) 3563-0530

E-mail：cs@o-econos.com